

コンパス薬局横浜西 スキルアップ勉強会

2017. 9. 14 小西

第 120 回

『エビリファイ錠 1、3、6、12mg、散 1%、OD 錠 3mg、6mg、12mg 内用液 0.1%』

大塚製薬株式会社 高田様

参加者：川村先生、山城、野田、佐藤、高柳、加納、渡辺、加藤、小西、高橋、小平

エビリファイは「統合失調症」、「双極性における躁症状」、「うつ病・うつ状態」、「小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性」の 4 つの適応がある唯一の抗精神病薬である。

【効能・効果】

・統合失調症 ・双極性障害における躁症状の改善 ・うつ病、うつ症状 ・小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性
(OD 錠 24mg は統合失調症と双極性障害における躁症状の改善の 2 つのみ)

【用法用量】

・統合失調症

通常、成人にはアリピプラゾールとして 1 日 6~12mg を開始用量、1 日 6~24mg を維持用量として、1 回又は 2 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 30mg を超えないこと。

・双極性障害における躁症状の改善

通常、成人にはアリピプラゾールとして 12~24mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、開始用量は 24mg とし、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量として 30mg を超えないこと。

・うつ病、うつ症状 (既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)

通常、成人にはアリピプラゾールとして 3mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は 1 日量として 3mg とし、1 日量は 15mg を超えないこと。

・小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性

通常、アリピプラゾールとして 1 日 1mg を開始用量、1 日 1~15mg を維持用量とし、1 日 1 回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は 1 日量として最大 3mg とし、1 日量は 15mg を超えないこと。

【特徴】

大塚製薬特有のキノリノン骨格を有する非定型抗精神病薬でうつ病・うつ症状における増強療法としての処方が可能な唯一の薬剤。ドパミンパーシャルアゴニストとして作用する第 3 世代の抗精神病薬であり、4 つの適応をもつ。部分的に受容体を活性化することで錐体外路障害や代謝異常等の副作用が少なく済む。それぞれの病態で使用量が異なるが、うつ症状には 3mg の低用量の方が高用量投与よりも効果があることがわかっている。抗うつ作用は効果発現まで 1~2 週間かかるので、その期間は続けることが重要である。内用液は錠剤に比べて Tmax が 1 時間早い。

【副作用】

アカシジア、振戦、口渇、便秘、体重増加など

重大な副作用 悪性症候群、遅発性ジスキネジア、麻痺性イレウス、アナフィラキシーなど

【考察】

既存の抗精神病薬とは違った、ドパミンパーシャルアゴニストとしてのユニークな作用機序を持つ薬剤である。第一世代は錐体外路障害が多く第二世代が開発され、エビリファイは第二世代以上に副作用軽減を期待できる薬剤である。ストレス社会である今日、抗精神病薬を服用している患者さんが増えているが、体重増加や血糖上昇などの代謝異常のリスクが少ないので、エビリファイは選択しやすい薬剤と考えられる。特にスタイルに敏感な女性には使用しやすいと思う。ただ、代謝異常に関する警告はあるため、必ずしも安全とは言い切れないのも事実である。剤形は普通錠、OD錠、散、内用液、注射と多種多様なので、年齢や病態に応じた剤形選択が可能である。うつ症状には既存薬にプラスオンすることで、既存薬とは違う機序から症状改善に貢献できる薬剤だと思う。

【質問事項】

Q1：副作用は何が多いのか？

A1：6～17歳の小児に限っては眠気が50%で高頻度。

Q2：小児科で出されることも増えているのか？

A2：小児科での処方はいらない。小児の患者さんは初めに小児科を受診し、そのあと小児精神科を紹介されて専門Drから処方されることがほとんど。

Q3：エビリファイと同じ機序の薬剤は他社で開発されていたり販売されていないのか？

A3：ドパミンパーシャルアゴニストとしてはエビリファイが唯一の薬剤である。